

あ わ じ に ん ぎ ょ う ざ
淡路人形座

にんぎょうしばい
～ドラマティックな人形芝居～



にんぎょう
人形



たゆう
太夫



しゃみせん
三味線



にんぎょう
人形をあやつって、
ぶたい
舞台上で
出てみよう！

たゆう
太夫になって、みんな
いきあ
で息を合わせ
かた
て語ってみよう！



「文化芸術による子供育成総合事業～巡回公演事業～」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

◆淡路人形浄瑠璃とは

淡路人形浄瑠璃は兵庫県淡路島で生まれた民俗芸能です。最も盛んだった江戸時代中期には40以上の座とよばれるグループがあり、日本各地に人形浄瑠璃を伝え今でも各地域のお祭りなどで盛んに行われています。人形、太夫、三味線が作り出す～ドラマティックな人形芝居～一瞬で衣装が替わる「早替り」など演出も派手で観る人を楽しませています。

◆プログラム 110分

はじまりの挨拶と淡路人形浄瑠璃の紹介

「生写朝顔日記 大井川の段」・・・一緒に元気よく声を出して語ってみよう！

人形・太夫・三味線のおはなし・・・それぞれの表現方法はどうなのかな？

「戎舞」・・・生きているように人形を動かして、えびすさまにお酒を注いで
願いごとをかなえてもらおう。

～休憩（10分）～

「本朝廿四孝 奥庭狐火の段」・・・人形と人形遣いの衣装が一瞬で替わる「早替り」が見所です。

おわりの挨拶

「生写朝顔日記 大井川の段」

お家騒動を背景にした、駒澤次郎左衛門と深雪のすれ違いの恋の物語です。

大井川の段では、深雪は駒澤の後を追って大井川にたどり着きます。

ところが、急な大水で川が渡れなくなりました。恋人を追うことができない不運を嘆き悲しむ姿が涙を誘います。

じょうり体験

「生写朝顔日記 大井川の段」の公演では一緒に浄瑠璃を語って頂きます。太夫が直接指導しますので、大きな声を出して元気よく楽しんでください。

最初は恥ずかしいかもしれませんが、がんばって声を出しましょう。

「戎舞」

昔、人形が神事に遣われていた頃の形式を最も残した戎舞は、おおらかな心を持ち、えびす顔でプラス思考に生きるという幸せの原点が込められています。各小中学校のみなさんに考えていただいた願い事を叶えようと、えびす様は御神酒を飲みながら祈り、幸せを運びます。酔っ払ったえびす様の面白おかしい姿など、笑いも交え楽しくご覧頂ける演目です。

人形つかい体験

人形浄瑠璃教室では、代表の児童・生徒3名様が、三人遣いの人形の体験ができます。

本公演では「戎舞」で、戎様にお酒を注ぐ役の人形を遣えます。また、戎様の願いの言葉も子どもたちに考えてもらい、学校に応じた願い事を入れることができます。

「本朝廿四孝 奥庭狐火の段」

人形芝居が最も充実した時代の作品の一つです。宝の兜をめぐって対立する上杉謙信と武田信玄。謙信の娘・八重垣姫と、信玄の息子・武田勝頼の恋の物語です。恋人の危機を救うために八重垣姫は・・・
琴や三味線の連れ弾きの伴奏と、人形と人形遣いが一瞬で早替りする演出がみどころの、人形芝居独特の華やかな魅力溢れる舞台です。

◆スケジュール

実施日程	実施校	地元主催者名
10月18日（金）	北九州市立尾倉中学校	北九州市教育委員会
10月21日（月）	佐世保市立宇久小学校	長崎県教育委員会
11月6日（水）	小城市立三日月小学校	佐賀県教育委員会、小城市教育委員会
11月7日（木）	白石町立白石中学校	佐賀県教育委員会、白石町教育委員会
11月8日（金）	佐世保市立山澄中学校	長崎県教育委員会
11月11日（月）	南島原市立深江中学校	長崎県教育委員会 / 南島原市教育委員会
11月12日（火）	大村市立竹松小学校	長崎県教育委員会 / 大村市教育委員会
11月13日（水）	大村市立大村小学校	長崎県教育委員会 / 大村市教育委員会
11月14日（木）	唐津市立大志小学校	佐賀県教育委員会、唐津市教育委員会
11月15日（金）	鹿島市立浜小学校	佐賀県教育委員会、鹿島市教育委員会
12月17日（火）	阿蘇市立阿蘇西小学校	熊本県教育委員会、阿蘇市教育委員会
12月18日（水）	山都町立清和小学校	熊本県教育委員会、山都町教育委員会
12月19日（木）	湯前町立湯前小学校	熊本県教育委員会、湯前町教育委員会

◆出演者

人形遣い	吉田新九郎	吉田史興	吉田徳蔵
	吉田廣の助	吉田光太郎	吉田幸路
	吉田千紅	吉田青豊	吉田松永
太夫	竹本友庄	竹本友和嘉	竹本友富士
三味線	鶴澤友男	鶴澤友吉	鶴澤友弥

◆公益財団法人淡路人形協会 淡路人形座プロフィール

1964年に発足した淡路人形座は、260年以上の歴史を誇る吉田傳次郎座の道具類を引き継ぎ、何世代もの人々の創意工夫が重ねられ受け継がれた人形浄瑠璃を上演しています。1998年に重要無形文化財義太夫節三味線保持者に認定された故鶴澤友路の弟子をはじめ、男性10名、女性8名の座員が淡路人形座で毎日公演する一方、国内外への出張公演、学校への出張講座、小・中学校、高校、子供会活動の後継者団体への指導、全国の伝統人形芝居保存会への協力など、伝統人形芝居の普及発展のための活動も積極的に行っています。

知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。